



“カリン”

幹は、べつべ
にはえていて
たくさんの葉と
実がついている



↑ 実が大きい。
熟しても固くて食べられない

樹皮ははがれて
まだら模様
になっている →
一本の株から
分かれて何本も
幹が伸びています



“ケヤキ”



木が大きくなる
と外側の木の皮
がうろここのよう
にはがれてくる ←



↑ 枝先に小さな
実がついています

おおぎを
開いたような
大きな木の
形が美しい →



“シラカシ”



枝先に
ちいさな実が
ついています
秋になると
“ドングリ”
になります →



葉の表面はみどり色をして光っています
裏は、やや白っぽく、葉のふちには
小さいギザギザがあります ←

木の色は
灰色で、表面に
こまかく
たてのすじが
入っている



木の皮は黒いが ↑
幹の中のほうはしろっぽい

“ハナモモ”



木は立ち上がり
横に伸びて
広がります ←



↑ 丸い実がなっています
熟れてくると落ちてしま

もともと花を觀賞するた
めに植えられた木です
枝は大きく横にひろがり
花は、葉が出る前にさき
良い香りがします →



< 野原で見つけました >

↓ 川辺の石の上のバッタ見えるかな?



↓ 葉の上の白いものは、バッタのぬけがら



↓ ショウリョウバッタをつかまえたよ ! ↓

